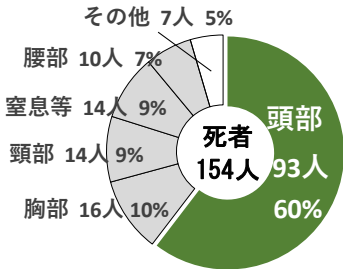


未来ある高校生の命を守るために ヘルメットの着用が必要です。

★ 自転車事故の特徴 ★

自転車乗用中死者の損傷部位構成率

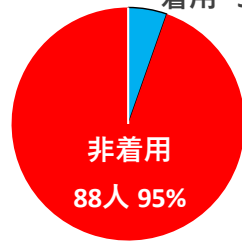
(H26～R5合計)



頭部死者
93人

ヘルメット着用状況

着用 5人 5%



頭部損傷が致命傷となる交通事故を防止するためには、ヘルメットの着用が必須

(参考：全国は頭部 58%)

(参考：全国は非着用 96%)

- 自転車事故死者の6割は頭部が致命傷（全国も約6割と同様）
- 頭部損傷による死者の9割以上がヘルメット非着用（全国も9割以上と同様）
- 小・中学生のヘルメット着用は進んでいるものの、その他年代で着用が浸透していない。

全ての自転車利用者に対して、ヘルメット着用の努力義務化（令和5年4月～）

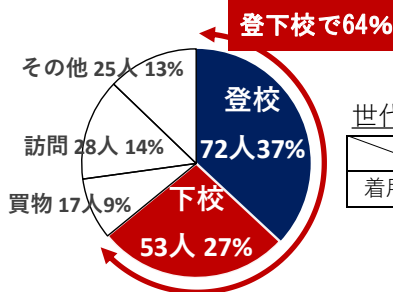
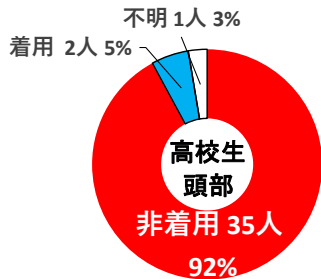
★ 茨城県の高校生の自転車事故の特徴 ★

頭部損傷による死者・重傷者の

ヘルメット着用状況(H26～R5合計・38人)

通行目的別状況

(R5・195人)



世代別死傷者のヘルメット着用率(R5)

	小学生以下	中学生	高校生	その他	全年齢
着用率	50%	79%	8%	13%	22%

世代別死傷者数と構成率 (R5)

	小学生	中学生	高校生	20歳未満他	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	合計
死傷者数	44	126	195	39	110	74	55	69	55	89	64	920
構成率	5%	14%	21%	4%	12%	8%	6%	8%	6%	10%	7%	100%

- 頭部損傷による死者・重傷者のヘルメット着用率は、9割以上がヘルメット非着用
- 令和5年中の特徴
 - ・ 登下校中で6割以上を占めており、登下校中のヘルメット着用が必要である。
 - ・ 高校生のヘルメット着用率は、8%と他世代と比べ低い(全国は10%)。
 - ・ 自転車事故死傷者に占める高校生の割合は、21%と世代別で最も高い(全国は14%)。

ヘルメット非着用

重大事故に直結⇒死亡・重傷

※ 頭部損傷による死者・重傷者は、38人中35人(92%)と大勢を占める。

ヘルメット着用

頭部損傷の被害軽減

※ 頭部損傷による死者・重傷者は、38人中2人(5%)と極めて少ない。

登下校中の自転車利用者のヘルメット着用が不可欠